

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和2年1月16日(2020.1.16)

【公開番号】特開2019-21405(P2019-21405A)

【公開日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2019-005

【出願番号】特願2017-136123(P2017-136123)

【国際特許分類】

H 01 R 13/04 (2006.01)

H 01 R 13/11 (2006.01)

【F I】

H 01 R 13/04 E

H 01 R 13/04 B

H 01 R 13/11 A

H 01 R 13/11 K

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月2日(2019.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

雌端子金具21(雌端子本体22)の前端側領域には角筒部23が形成され、雌端子金具21の後端側領域には、電線(図示省略)の前端部に圧着されるオープンバレル状の圧着部24が形成されている。角筒部23は、前後方向に細長い底壁部25と、底壁部25の左右両側縁から上方へ略直角に立ち上がった左右一対の側壁部26と、左右いずれか一方の側壁部26の上端縁から延出して底壁部25と略平行に対向する上壁部27とを備えて構成されている。上壁部27の内面(下面)のうち前後方向における略中央部は、受圧部28となっている。受圧部28は、角筒部23に対するタブ13の挿抜方向と平行な平面状をなす。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

雌端子金具37(雌端子本体38)の前端側領域には角筒部39が形成され、雌端子金具37の後端側領域には、電線(図示省略)の前端部に圧着されるオープンバレル状の圧着部48が形成されている。角筒部39は、前後方向に細長い底壁部40と、底壁部40の左右両側縁から上方へ略直角に立ち上がった左右一対の側壁部41と、左右いずれか一方の側壁部41の上端縁から延出して底壁部40と略平行に対向する上壁部42とを備えて構成されている。上壁部42の内面(下面)のうち前後方向における略中央部は、受圧部43となっている。受圧部43は、角筒部39に対するタブ13の挿抜方向と平行な平面状をなす。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 8】

1 0 ... 雄端子金具

1 3 ... タブ

1 5 ... 基板部

1 6 ... 上板部

1 9 ... 雄側保持孔（保持孔）

2 0 ... 雄側導電部材（導電部材）

2 1 , 3 7 ... 雌端子金具

2 3 , 3 9 ... 角筒部

2 8 , 4 3 ... 受圧部

2 9 ... 保持部

3 3 ... 雌側保持孔（保持孔）

3 4 , 4 6 ... 弹性押圧片

3 6 , 4 9 ... 雌側導電部材（導電部材）